

# 稲作だより

## ～第2号 育苗・本田編～

**浸種の水温は 12℃以上、15℃未満で！  
催芽は、あせらず芽切れを確認！**

### ～育苗管理～

#### 1 浸種の水温を低くせず、品種毎に必要な積算水温を確保

浸種は、12℃以上から15℃未満で行います。浸種開始時の水温が5℃くらいまで低いと、催芽時の芽切れが不揃いになり、発芽勢も劣ります。適正な水温で浸種し、積算水温は品種ごとの目安を参考にして十分給水するように管理します。

浸種期間の目安

品 種 名	積算水温	浸種日数
		水温12℃
はえぬき、あきたこまち、雪若丸、コシヒカリ、ひとめぼれ、つや姫	120℃	10日
ササニシキ、ヒメノモチ、こゆきもち	100℃	9日

#### 2 催芽の状態をきちんと確認 <出芽を均一にします>

- 30～32℃の適温で、芽(鞘葉)と根が1mm出たハト胸状態にします。
- 昨年は登熟期間が高温で経過したため、種子の休眠が深くなっています。浸種が十分であっても、**本年は催芽を始めてから芽切れするまでの時間が、例年より長い状況が見られています。**
- 芽切れしないまま播種してしまうと、出芽揃いが悪くなり、その後の健苗育成が難しくなります。**必ず、しっかり芽切れしていることを確認してから、播種作業に入りましょう。**  
※特に休眠が深くなりやすいとされている「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」や酒造好適米は注意が必要です。



#### 3 苗種に合わせて適正な播種量

- 播種量(乾籾換算)の目安は、中苗が80～120g/箱、稚苗が130～170g/箱です。  
※播種量が多すぎると、軟弱徒長苗の原因になるので注意しましょう！

#### 4 出芽～緑化期の温度管理 <苗の生育に合わせた温度管理を徹底！>

- 施設内の温度上昇による高温障害(ヤケ)に注意しましょう。
- 晴天日は、外気が肌寒くても閉め切ったハウス内はすぐに高温になります。施設内の温度(特に苗箱付近)を確認し、朝8時までに換気しましょう。

◇温度管理の目安（出芽～1.5葉期）

稚 苗 育 苗（育苗器で出芽する場合）		中 苗 育 苗（無加温で出芽する場合）	
出芽期（2日間）	30～32℃	出芽揃いまで	20℃以上
緑 化 期 （3日間）	昼間 20～25℃ 夜間 10℃以上	出芽期～ 1.5 葉期	昼間 30℃以下 夜間 10℃以上

○無加温出芽の場合、出芽揃いまで保温資材を活用し、適正な温度を確保しましょう。

○出芽後は、直射日光を避けながら徐々に緑化させます。

※被覆用の資材毎に遮光率、保湿性、保温性が異なるので、注意が必要です！

○プール育苗では、苗が 1.5 葉以上になったことを確認して箱の高さまで入水しましょう。これ以降は、生育に応じて水を張る高さを上げていきます。育苗後半は、苗が伸びやすいため、積極的に換気して温度を上げ過ぎないようにしましょう！

## 5 育苗期間中の水管理 《適切なかん水で徒長を回避！》

○かん水は1日1回、朝にたっぷりに行いましょう。一見、乾いているように見えても、夕方に苗の葉先に水滴がついている場合は、かん水する必要はありません。

○朝にかん水した後、万が一乾いてかん水する場合には、昼ごろに行い、低温時や夕方には行わないようにしましょう。床土の温度が下がるとともに根が酸素不足になるなど、根張り不良の原因となります。

## ～本田の管理～

### 1 気象変動に負けないよう、土づくり肥料の施用、作土深の確保

○ケイカル・ようりん等土づくり肥料を積極的に施用しましょう。施用量の目安は、ケイカルは 120kg/10a、ようりんは 30kg/10a 程度です。

○耕深は 15 cmを確保しましょう。早めに耕起を行い、乾土効果を高めましょう。

### 2 適正な基肥施用 《食味・品質重視！ムリせず適正な施肥量を！》

◇一般田での施肥量の目安（窒素成分 kg/10a）

品種名	基 肥	品種名	基 肥	品種名	基 肥
はえぬき	5～6	あきたこまち	3～5	コシヒカリ	2～3
つや姫	3～4	ササニシキ	3～4	山形 95 号	4～5
雪若丸	4～5	ひとめぼれ	3～4		

※例年、葉色が濃い、屑米が多い圃場では、窒素を 1～2 割減らしましょう

#### 【対応技術】

○中山間地などで水温が低く初期生育がとれない場合：①温水チューブの利用や温水田の設置等により水温の上昇に努める。②活着期に窒素成分で1～2kg/10a 施用する。

○側条施肥の場合：①全層基肥に比べて20%程度減肥する。②生育中期に肥切れを起こすことがあるため、全層施肥との組合せや緩効性肥料を用いて対応する。

## ☆春の農作業事故防止啓発運動展開中（4月10日～6月10日）

あせらず、ゆとりを持って農作業をしましょう。周囲の方にも、声掛け

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8630、8631、8632